

的中率を検証する

英語科 八幡成人

1. 第1問 発音・アクセント問題

～発音50%、アクセント88%が的中！

センター試験の第1問の発音・アクセント問題に関して、常日頃から「出る単語は決まっている！」と公言している私としては、今回の「2013センター試験」の出題でそれを検証しておきたいと思います。『英語センター試験対策本2013』（自費出版）に収録されている「頻出語リスト2013」は、果たしてどれだけの効果があったのでしょうか？

まずAの発音問題。昨年より1問減っています。母音1問、子音2問です。全12語のうち、私の「頻出語リスト2013」に挙がっていたのは、**genius, medium, insurance, serious, castle, subtle**の6語でした（50%的中）。そのうち**serious**と**subtle**は★印のついた重要語でした。ちなみに、問2の発音問題は、2007年度の間1に、問3は2009年度の間2（**subtitle, subtle**で今回と酷似！）で出題されたものです。やはり過去問をやっておくことの大切さを感じます。同じ単語が繰り返し出題されることも多いのです。

次にBのアクセント問題。今年は昨年と違って、見出し語がなくなり（一昨年度の形式）、1問増えました。出題された全16語のうち、私のリストに載っている単語はなんと14語です（88%的中）：**degree, ★ insect, ★ percent, ★ success, ★ energy, ★ photograph, ★ relative, ★ continue, dynamic, ★ hamburger, accurately, ★ architecture, historical, operator**。うち9語が★印の重要語でした。私が日頃授業で解説している「双子の法則」（**degree**）「ヤンヤンヤスヤントヤリテエの法則」（**essential**）「子チビ母チビの法則」（**relative**）「イクイクルール」（**dynamic, historical**）「あぶる朝へと合図」（**accurately**）といったアクセントルールを押さえておくとずいぶん楽に解けたと思いますよ（「チーム八ちゃん」の「ダウンロードサイト」に登録済み）。

また、日頃の模試で「カタカナ語」に注意！と強調し、「黙字」も狙われるよ、と注意を喚起してきましたが、まさにピッタリ！**meter, symbol, title, percent, success, energy, hamburger**といった多くの「カタカナ語」が出題されました。センターは「カタカナ語」が大好きなんです。原則として、カタカナ語は第1音節にアクセントのあるものが圧倒的ですから、そうならない例外を注意して押さえておくようにしましょう。また、**castle**で「黙字」が問われました。実際に、松江北高のたくさんの生徒たちが、「第1問で満点が取れました」と喜んで報告してくれています。

私が解説をしています『2013進研[センター試験]対策英語重要問題演習』（ラーンズ）の別冊付録「ナビゲーター」からもたくさんの語が的中しました。「カタカナ語」には要注意！のわずかな囲みリストの中から、なんと、問1 **percent, success**、問2 **energy**、問3 **hamburger**、問4 **operator**が出題されています。さらには、**castle, subtle, accurate (ly), architecture, basic (ally)**が出題されました。

やはり「出る単語は決まっていた！」のでした。過去問にあたって整理しておきましょ

う。「ダウンロードサイト」に過去の出題語のリストが登録されています。これだけ事前に出題語の予想ができるのであれば、ネイティブの吹き込んだ CD とリストを出版してもらえればぜひぶん生徒たちに喜ばれると思うのですが、なかなか実現しません。もう少し働きかけてみます。

2. 第2問 文法・語法問題 ～10問中8問が的中！

昨年末、私たちは、八幡成人(監修) 中川右也・土屋知洋(編著)『センター試験英語過去問題集 文法・語法頻出17項目の演習 TREND 17』(ピアソン桐原)を出版いたしました。そこでは「過去問を解くことの意味と重要性」を強調しました(まえがき)。今回のセンター試験の第2問の出題を見て、私たちの主張の正しさを再確認しています。第2問Aで出題された全10問のうち、私たちの本の「ハンドブック」で、何と8問までがはっきりと取り上げられていました(80%)。すごい的中率ですね。



●「ハンドブック」に取り上げられた項目

- 問1 p.7 「6 almost と most の使い方」の解説 (重要とマーク)
- 問2 p.9 「4 one/ another/ the other(s) の使い分け」の解説 (重要とマーク)
- 問3 p.27 「2 過去を表す<助動詞+ have + Vpp >の形」の解説 (重要とマーク)
- 問4 pp.12-13 例題(未来完了形)と解説
- 問5 p.5 「that 節に動詞の原形が用いられる動詞」(suggest, demand, insist, recommend) (「ここが狙われる！」リスト)
- 問7 p.11 「前置詞 during 「～の間(ずっと)」と while 「～の間に)」の区別」の解説
- 問8 p.5 「3 動詞を含んだ熟語・フレーズ」 put up with A 「Aを我慢する」
- 問10 p.5 「3 動詞を含んだ熟語・フレーズ」 turn down A 「Aを断る」

また、スペースの関係で、本冊に収録することはできなかったのですが、問9の keep an eye on ～「～から目を離さない」という熟語表現も、2004年本試験に出題された(問7) Would you mind () an eye on my luggage while I make a phone call?が、焼き直されての出題でした。長年にわたって、センター試験の本試験・追試験のデータを取り続け、そのデータ分析の成果を「ハンドブック」に書き込みましたが、やはりデータは嘘をつきませんでした。過去の本試験・追試験のすべての問題をネットで利用できるようにして、生徒たちに携帯で勉強してもらおうという企画が進行中です。

また第2問Cの語句整序問題においても、問1は「倍数 as ～ as」(p.36)、問3は enough to V(p.15)に解説したものでした。

また、もう一冊の私が解説を担当している『2013進研[センター試験]対策英語重要問題演習』（ラーンズ）の別冊付録「ナビゲーター」では、第2問の文法・語法問題では、問2、問3、問4、問5、問7の項目が、pp.3-4に取り上げられています。また熟語として出題された、問6の **consist of**、問8の **put up with**、問10の **turn down** の3つ全てがpp.31-33の「長文読解問題 言い換え表現リスト」に取り上げられた表現でした。



さらには第2問Cの語句整序問題でも、p.29-30に掲載されている「語句整序」で狙われる重要表現リストの解説から、問1の「倍数 **as ~ as**」(p.30)、問2の **what I am**「今の私」(p.29)が的中しました。

最後に、全国でもたくさんの先生・生徒さんに圧倒的支持をいただいております、私の『英語センター試験対策本2013』（自費出版）（ピアソン桐原がこの本の最新2刷版を無料で先生方の元へお届けしています）で、第2問Aにおける、今回の出題された項目をチェックしてみると、



問1 (p.56)、問2 (p.35)、問3 (p.49)、問4 (p.46)、問5 (p.28)、問6 (p.103)、問7 (p.42)、問8 (p.104)、問10 (p.104)と、ほぼ完全にカバーされていました。やはり、狙われる箇所が存在するということですね。

さらには、第2問Cの語句整序問題でも、「超狙われる語句整序のポイント」(p.70)において、問1の「倍数 **as ~ as**」、

問2の **what I am**「今の私」が的中しました。

以上、検証報告でした。やはり努力は裏切らない、ということが証明されたわけです。「英語は絶対に裏切らない」というのが私の口癖です。

《参考》 高校2年生に薦めてあげてください。

代ゼミ解説講義 http://bb.goo.ne.jp/special/yozeimi/center_kaisetsu/

河合塾解説講義 <http://kaisoku.kawai-juku.ac.jp/nyushi/center/13/lecture.html>